

## 【京都市】公共交通の担い手確保対策

### 1 公共交通担い手確保支援事業（令和5年9月補正予算）【予算額：50,000千円】

事業者の取組に対しスピード感を持って支援を行うため、令和5年9月に補正予算（50,000千円）を計上

#### (1) 交通事業者及び業界団体への支援（補助金） 【予算額：37,000千円】

- ・ 補助対象者：京都市域に本社又は営業所を置く路線バス事業者、法人タクシー事業者  
京都府バス協会、京都府タクシー協会
- ・ 補助対象経費：担い手不足対策の取組に要する経費を幅広く対象  
（二種免許取得支援や啓発ツール作成、事業者向けセミナー開催など）
- ・ 補助率：5分の4
- ・ 上限額：事業者当たり1,000千円、業界団体当たり3,500千円

#### (2) 公共交通の担い手確保の重要性に関する広報面の支援【予算額：13,000千円】

- ・ 市民生活における公共交通の担い手の重要性や魅力を発信しイメージアップを図る。
- ・ 公共交通でのエピソードを募集し、集まったエピソードを交通広告やWEB広告で発信

## 路線バス・タクシーの運転手さん、ありがとう。

### 「七五三の日」

娘の七五三詣りの日。  
車で神社に行こう!と思ったら、  
タイヤがパンクしており、  
子ども達はしょんぼり。  
でも乗ったタクシーの運転手さんが優しく、  
「おめでとうございます」とお祝いしてくれ、  
明るい雰囲気になりました。

(京都市北区 / 30代女性)

### 「頑張ったね」

京都駅へ向かうバスのお話。  
2才の息子は長時間の乗車で、  
降りたいと大声で泣いていました。  
ようやく到着し、降りる時、運転手さんが  
「頑張ったね」と。  
私も息子も笑顔で降りられました。  
以来息子は、バスが大好きです。

(草津市 / 50代男性)

# もしもあの時、バス・タクシーがなかったら **募集エピソード**より

※投稿いただいたエピソードは、一部、文章を変更して掲載しております。



# 誰かに必要とされる 存在になれる。 それが運転手です。

「一人一人の日常を守る」という使命を乗せて。  
路線バス・タクシーの運転手は、  
ひとの心に残る思い出が生まれる仕事です。

運転が  
好きな方

京都が  
好きな方

## 大募集!

詳しくは**特設サイト**へ!

もしもバスタクシー 検索

募集エピソードも掲載!



※携帯電話のご利用マナーにご協力ください。



深刻な**運転手不足**で、地域からバス・タクシーがなくなるかもしれない。「みんなごと」で考えよう、京都の街の**未来**。

発行：都市計画局歩くまち京都推進室  
京都市印刷物 第052344号  
令和6年3月発行

## 【京都市】公共交通の担い手確保対策

### 2 公共交通担い手確保・定着支援事業（令和6年度第二次編成予算）

#### (1) 交通事業者及び業界団体への支援（補助金） 【予算額：31,000千円】

- ・ 補助対象者：京都市域に本社又は営業所を置く路線バス事業者、法人タクシー事業者、地域鉄道  
京都府バス協会、京都府タクシー協会
- ・ 補助対象経費：担い手確保・定着のための労働環境改善に資する取組  
(福利厚生に係る施設の整備等)  
その他担い手不足対策の取組に要する経費を幅広く対象  
(二種免許取得支援や啓発ツール作成、事業者向けセミナー開催など)
- ・ 補 助 率：2分の1
- ・ 上 限 額：事業者当たり1,000千円、業界団体当たり3,500千円

### 3 バス事業者担い手確保検討WGの設置・運営

令和6年1月に、公共交通ネットワーク会議に新たに「バス事業者担い手確保検討WG」を設置。バス事業者及び行政の連携により、担い手確保に向けた効果的な取組を検討・実施する。

# 【京都市】 バス路線の維持に向けた新たな支援（令和6年度第二次編成予算）

【予算額295,000千円】

## 1 背景

運転士等の担い手不足の深刻化や利用者数の減少、燃料費高騰など路線バスは厳しい経営環境に置かれ、そうした中で本市内でもバス路線の減便等が相次いでいる。

こうした状況を踏まえ、「京都市地域公共交通計画」に基づき、**市民生活に不可欠な路線を確保するため、バス事業者への新たな支援制度を創設**する。

## 2 事業概要

既存のバス路線廃止による新たな交通空白地を発生させず、市民生活に必要不可欠な路線を維持し、「市民の足」を確保するため、**「代替性のない路線」と「その路線別収支」に着目した路線補助**を実施する。

また、支援対象路線においては、**地域住民、バス事業者、京都市が一体となったモビリティ・マネジメント**を実施し、当該路線の利用を促すことで、路線の維持確保に取り組む。

## 【京都市】 バス路線の維持に向けた新たな支援（令和6年度第二次編成予算）

### (1) バス路線運行維持に対する支援【予算額：288,000千円】

市域内を運行するバス事業者等を対象とし、以下の要件を満たす路線について、路線収支の赤字に対する補助を実施する。

- ① 当該路線が廃止されることによって鉄道駅やバス停の一定距離圏内から外れる地域が発生すること
- ② 路線収支が赤字であること
- ③ 一定の市民利用がある生活路線であること

- ・ 補助対象経費：補助対象路線の赤字相当額
- ・ 補 助 率：1 / 2（民間バス等は4 / 5）

### (2) モビリティ・マネジメントに対する支援【予算額：7,000千円】

支援対象路線の利用を促すため、沿線の地域住民とバス事業者、京都市が一体となつて実施するモビリティ・マネジメントの取組に対して、その必要経費（利用促進に向けた情報提供や啓発の実施等に係る経費）に対する補助を実施する。

- ・ 補 助 率：1 / 2
- ・ 上 限 額：1,000千円